

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束の弊害や、具体的な事例と法令の対象基準を正しく学び、職員間で共通した認識を持ち、共有する事が望ましい。	職員全体で身体拘束に関する知識を深め、身体拘束ゼロに努める。	施設内での勉強会や外部の身体拘束の講習会に参加し、職員間での情報共有を行う。モニタリングにより、利用者様の行動把握を行い、拘束をしないケアの実践に努める。	6 か月
2	35	各地で多種の災害が多発している。それらに備えた、総合的な防災対策の規定づくりに期待をしたい。	地域との協力関係を築き、地域と連携した、防災対策を行う。	地域の方と一緒に火災や水害等の総合的な防災対策の規定づくりを行う。施設内の避難訓練のみでは無く、地域単位での、訓練へ参加をする。	6 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。